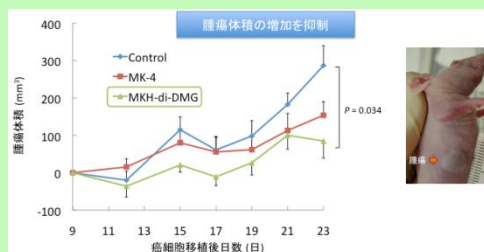
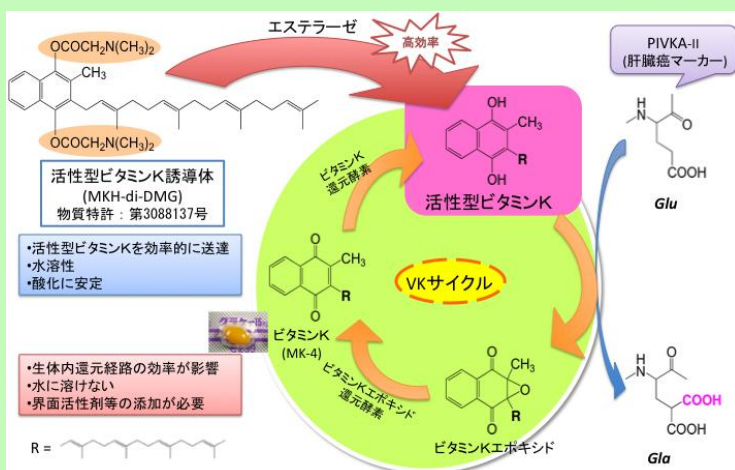


【分野】 医薬品

【キーワード】 抗癌剤、癌転移抑制剤、癌予防剤

【研究概要】

ビタミンKは生体内還元経路で活性型ビタミンKになり効果を発揮します。ビタミンKの効果は生体内還元経路の効率に大きく影響され、特にアドリアマイシン等のキノン系抗癌剤に耐性のある癌では、生体内還元経路が欠損していることが知られています。**活性型ビタミンK誘導体**は生体内還元経路を回避して活性型ビタミンKを作用部位に送達することで、ビタミンKの抗癌効果を効率的に発揮することができるのです。



【特徴、効果、独創的な点】

- ・従来の抗癌剤では重篤な副作用のため長期投与不可能、患者のQOLも低下
 - ・本薬物はビタミンKとアミノ酸に代謝され、非常に安全性が高い抗癌剤
 - ・「生体内還元経路非依存薬物送達システム」というコンセプトは世界初¹⁾
- 1) Valentino J. Stella. Prodrugs: Challenges and Rewards. (2007) p239-240

【利用、用途】

- ・安全性が高く副作用の少ない抗癌剤として
- ・副作用が少なく長期投与可能な癌の転移抑制剤、発症予防剤として
- ・従来型のキノン系抗癌剤の作用増強補助剤として

【知的財産等情報】 特許：第4040082号、第3088137号 関連論文等：5編